

NEJM 勉強会 2015 年度 第 3 回 2015 年 5 月 21 日 A プリント 担当：大岸誠人  
Case 28-2014 — A 39-Year-Old Man with a Rash, Headache, Fever, Nausea, and Photophobia  
(N Engl J Med 2014; 371:1051-1060 September 11, 2014.)

【患者】 39 歳男性

【主訴】 皮疹、頭痛、発熱、嘔気、羞明

【現病歴】 当院受診のおよそ 1 ヶ月前までは健康であった。1 ヶ月前に掻痒性の皮疹が腰より下、特に左大腿に出現した。この皮疹は彼が過去にも経験した一過性の皮疹と似ていた。10 日前、当院救急外来を受診していた。診察上、色素変化が顔面、腹部下部に、散在性の丘疹が下腿と手首に、紫斑が左大腿に、そして散在性に複数の表皮剥離 *excoriation* が見られた。皮膚炎の診断で皮膚科クリニックに紹介された。翌日皮膚科クリニックの受診で、彼は重度の掻痒感を訴えた。新たなソープや界面活性剤を使用してはいなかった。診察上、紅～青紫色の色素斑が、特にベルトより下の腹部と両下肢のズボンのポケットの部位に、皮膚色素脱失と掻痒性の結節とともに認められた。また、直径にして 2~4mm の茶色の丘疹がまばらに体幹と四肢に散在しており、これは良性母斑として矛盾しなかった。その他は診察上異常なかった。以上より重症接触性皮膚炎と診断され、硬貨や衣服の金属によって引き起こされたものと考えられた。A tapered course of prednisolone が処方された。

昨日午後 4 時、以前に経験したことのない頭痛と興奮 agitation、不穏 restlessness が出現した。彼は自分でイブプロフェンを服用したが効果がなかった。彼の家族が救急要請し、当院救急部に搬送された。以降の病歴は彼の家族と親族からのものである。

ペインスケールは 10/10。羞明と嘔気あり。発熱・項部硬直・嘔吐・咳嗽・呼吸困難・頭部外傷・胸痛・腹痛の自己申告なし。肝斑 *malasma* と座瘡 *acne* が見られた。

【既往歴】 これまでの 8 年間で、好酸球増多症 ( $910 \text{ cells/cm}^3$ ; ref, 100-300) と関連し腰部と腋窩を中心として分布する掻痒性の皮疹が繰り返し見られていた。4 年前には小腸部分閉塞をきたしており、メッケル憩室切除術を受けていた。また、以前に汗腺膿瘍 *hidradenitis suppurativa* になったことがある。

【アレルギー歴】 薬剤に対するアレルギーは分かる限りではなし

【服薬歴】 痒みに対してプレドニゾンとヒドロキシジン塩酸塩

【ワクチン接種歴】 not known

【家族歴】 not available

【生活社会歴】 ドミニカ共和国生まれ、15 年以上前にアメリカに移住。スペイン語が母国語。2 ヶ月前にドミニカ共和国を訪れている。妻と子どもと一緒に住んでいる。インドアオフィスワーカー。

飲酒：機会飲酒、喫煙：なし、違法薬物：なし、性交渉歴：記載なし

【身体所見】

<バイタル> 見当識正常、興奮している、怯えている、頭を抱えて唸っている

BT 36.7~38.1°C、PR 153、RR 28、SpO<sub>2</sub> 100% r.a.

<頭頸部> 口腔粘膜乾燥、瞳孔 4mm 対光反射良好、頸部は硬い stiff・屈曲と回旋で痛む

<神経筋> 両側で筋力 4/5、歩行不安定、介助なしでは立位維持困難

【検査所見】

<一般検査所見> Table1 参照

<頭部単純 CT>頭蓋内出血の兆候なし、区域梗塞の兆候なし、頭蓋内腫瘍性病変なし

<胸部 X 線>正常

<心電図>PR 132、Sinus rhythm、その他異常所見認めず

<血液培養>提出された

<腰椎穿刺>CSF 検査結果は Table1 参照。CSF グラム染色からは多数の多形核白血球が見つかったのに加え、ごく少数のグラム陽性球菌のペアが見つかった。

#### 【経過】

セフトリアキソン、バンコマイシン、アシクロビル、マグネシウム、メトクロプラミドが経静脈的に投与された。患者は入院となり、リファンピン、オンダンセトロン、デキサメタゾン、麻薬性鎮痛薬が追加され、アシクロビルは中止された。入院一日目のあいだに発熱と悪寒は軽快したが頭痛と項部硬直は持続した。

診断的検査が行われた。

Table 1

<b>Table 1. Laboratory Data.*</b>		
<b>Variable</b>	<b>Reference Range, Adults†</b>	<b>On Admission</b>
<b>Blood</b>		
White-cell count (per mm <sup>3</sup> )	4500–11,000	17,400
Differential count (%)		
Neutrophils	40–70	86.9
Lymphocytes	22–44	8.5
Monocytes	4–11	1.9
Eosinophils	0–8	2.1
Basophils	0–3	0.2
Sodium (mmol/liter)	135–145	134
Potassium (mmol/liter)	3.4–4.8	3.9
Chloride (mmol/liter)	100–108	93
Carbon dioxide (mmol/liter)	23.0–31.9	25.5
Anion gap (mmol/liter)	3–15	16
Glucose (mg/dl)	70–110	121
Phosphorus (mg/dl)	2.6–4.5	1.4
Magnesium (mg/dl)	1.7–2.4	1.5
Lactic acid (mmol/liter)	0.5–2.2	3.8
<b>Cerebrospinal fluid</b>		
Opening pressure (cm of water)		Unable to obtain with patient in upright position
Color	Colorless	Colorless
Turbidity	Clear	Moderate
Xanthochromia	None	None
Red-cell count (per mm <sup>3</sup> )		
Tube 1	None	11
Tube 4	None	12
Count of white cells and other nucleated cells (per mm <sup>3</sup> )		
Tube 1	0–5	13,800
Tube 4	0–5	13,150
Differential count (tube 1 of 4) (%)		
Neutrophils	0	90
Band forms	0	3
Lymphocytes	Not defined	4
Monocytes	Not defined	3
Protein (mg/dl)	5–55	195
Glucose (mg/dl)	50–75	46